



EVENT

環境フォーラム湖東からのお知らせ

「湖東の環境活動展」開催

環境フォーラム湖東や会員団体の活動をパネル展示でご紹介します。お気軽にお立ち寄り下さい

日時：令和元年 12月17日(火)～12月23日(月)

場所：ビバシティ彦根センターモール

<http://www.vivacity.co.jp/>

入場料：無料



▶▶ 湖東の環境活動展昨年の様子



主催 環境フォーラム湖東

☎ 0749-27-2255

🌐 <https://www.f-koto.org>

お問い合わせ、
詳細はこちらまで！

環境フォーラム湖東 滋賀県の「マザーレイク 21 計画」に基づき、計画を具体的に進めるために住民・事業者・学校・行政によって設立された湖東圏域の地域フォーラム。環境意識の向上と会員のネットワークを構築し、各種活動を展開して環境問題に対する理解を深めるとともに、湖東地域からよりよい環境を創りだしていくために活動しています。

編集後記

■いよいよ来年はマザーレイク 21 計画の第 2 期最終年となります。第 1 期計画を基にして平成 13 年に設立された環境フォーラム湖東も来年で 19 年目。第 3 期のマザーレイク 21 計画がどのようになるのか気になるところです (KS)

環境フォーラム湖東 新規会員募集中！

ちょっと環境の勉強をしてみたいという方、すでに環境に関する活動をされている方や企業・団体など、どなたでもご参加いただけます。右記事務局までお気軽にお問い合わせください。詳細をご連絡いたします。



環境フォーラム湖東 情報交流誌

エコトピア 第34号

令和元年11月

発行：環境フォーラム湖東

連絡先：〒522-0071

彦根市元町4-1

滋賀県湖東環境事務所内

電話：0749-27-2255

FAX：0749-27-1688

URL：<https://www.f-koto.org>

<https://www.facebook.com/f.koto.org>



年2回発行 ● 2019年11月
環境フォーラム湖東 情報交流誌

つなぐ・ひろげる・湖と人

エコトピア

ecotopia

34

Photo Gallery

湖東の生き物の仲間



ジョウビタキ

ヒタキ科

冬鳥としてシベリア方面から秋の始めに渡ってくる。秋から冬にかけてはオスもメスも一羽ずつ、縄張り持って生活するので枯れ枝、電線の上などでヒッヒッと縄張りを宣言している。

お辞儀をするように頭を下げ、尾を細かく振ってクックッと鳴く動作も面白い。全体が淡褐色でつばさの白い紋はオス、メス変わらない。

Photography by NISHIZAWA Kazuhiro

「エコサロン」は環境フォーラム湖東の交流会。
詳しくはHP、チラシにて！
<https://www.f-koto.org>



今回の「エコサロン」は、2018年5月に滋賀県と包括連携協定を締結された聖泉大学と一緒に開催をしました。環境フォーラム湖東でも、聖泉大学とは、2018年9月に草津市内で開催された音楽イベント「イナズマロックフェス 2018」における無料エリア「おいで～な滋賀体感フェア」への出展で学生さん達にお手伝いしていただくなどの、連携を始めています。これからも、いっそう連携を強化していきたいと思っています。

今回の話題提供は、地域の運動を通じた健康づくり講座などを開催されている聖泉大学の多胡先生からで、「自然環境と健康運動のマッチング」についてお話しいただきました。講演は、多胡先生によるギターの生演奏



に始まり、ユーモアをまじえた先生のおはなし、みんなで「琵琶湖周航歌」に合わせたストレッチ体操など、とても楽しいものでした。さらに、最後にも多胡先生から「琵琶湖周航歌」のサービス演奏をしていただき、参加者もみんなで歌声を響かせていました。先生からは、自然環境の保全等の取組と健康運動のマッチングは今後重要視されていくと思われることから、子どもからお年寄りまでの健康の課題や健康づくりについてお話しいただきました。日頃から活動的に動くこと自体が健康につながることや、社会貢献したり、人生を楽しむためには健康づくりが必要であると気付かせてもらいました。また、環境保全活動にも健康づくりを取り入れることができることに気づくことができたので、これからの私たちの活動でも健康づくりを取り入れた活動をしていこうと思いました。

多胡先生のお話し後は、軽食、ドリンクをとりながらの歓談会となりました。自由に歓談してもらいましたので、日頃の活動の紹介や意見交換など活発な話をされて交流をはかっておられました。

当日は少々肌寒かったのですが、参加しておられた地元の肥田町の方が、エコサロン終了後に自転車で颯爽と帰られる姿を見送りながら、やっぱり健康は大事だと再認識させられました。

DATA

日時 平成31年2月22日（金）

場所 聖泉大学 会議室

話題提供 「自然環境と健康運動のマッチング」

多胡陽介氏（聖泉大学地域連携交流センター委員）



湖東の生き物調査

「水生生物観察会・洞窟探検」を開催しました

7月末の雨で犬上川の水が心配されましたが、その後晴天が続いたため水流の危険も少なく安全と判断し開催することとしました。当日も晴天で、観察、探検日和となりました。

佐目自然運動公園駐車場から犬上川までの移動では、急な斜面もあり、みなさん苦労されていましたが、子どもたちも頑張って自力で進んで行きました。

川辺について最初に講師の西澤さんと阿部さんの説明を聞きました。洞窟に入れる人数が限られているため、3班に分かれて水生生物観察、洞窟探検を開始しました。

犬上川の水はきれいで冷たかったのですが、子どもたちはお構いなしに川に入って行って、濡れながらも、魚、カニ、水生昆虫を見つけていました。中には普段では見ることのない生き物もたくさん発見している子どももいました。そして捕まえた生き物が成長したら何になるのかも講師の西澤さんに熱心に聞いていました。

洞窟探検では、特に洞窟の入り口までの移動で急な斜面を登るため大変でしたが、学生ボランティアの助けをもらいながら、年少の子どもたちでも時間はかかりましたが、泥んこになりながら頑張って自力で登って行きました。洞窟は観光地のように整備されておらず、照明設備もないため、みんなはヘルメットをかぶり、懐中電灯を持って入って行きました。天井にヘルメットが何度もあたりながら進んでいきましたが、普段見ることのできない探検ができたと思います。外は熱中症も心配されるほど暑かったですが、洞窟の中は涼しく、10度以上気温の違いがありました。

子どもたちは、水に濡れたり、泥んこになりながら、誰も途中でリタイアすることなく楽しんでもらいました。大きなけが人が出なかったのが一番でした。



参加者

42名（講師、学生ボランティア、事務局は除く）

参加者内訳

子ども 21名、保護者 16名、その他 5名（計 42名）

住所別の内訳

彦根市 16名、湖東 4町 20名、その他県内 2名、県外 4名（計 42名）

子どもの学年別内訳

中学 1名、小学 5,6年 3名、小学 3,4年 2名、小学 1,2年 9名、未就学児 6名（計 21名）

学生ボランティア

10名（滋賀大学 4名、聖泉大学 6名）

事務局

4名





DATA

日時 令和元年8月10日(土) 10:00~12:00

場所 犬上郡多賀町佐目(犬上川)ほか

講師 西澤一弘氏(環境フォーラム湖東運営委員長)

阿部勇治氏(野生動物調査研究員、洞窟探検・化石分析専門員)

ウィークエンドクラブ「びわ湖のヨシを考える」

びわ湖に群生するヨシは、子どもたちでも一度は見たことがある風景です。ヨシ原の役割、ヨシと私たちの暮らしとの関係、それらを学ぶのが今回のイベントの目的でした。

前半は、淡海環境保全財団の先生によるお話。プロジェクターに投影される写真を見ながら、魚や鳥の住処としてのヨシ原が水質保全に役立っていることを学習しました。子どもたちは夢中で、その真剣さは予想以上でした。

後半は、ヨシを使ったコースターづくりに挑戦しました。ヨシの長さをそろえて紐で編んでいく、ちょっと難しい作業でしたが、ボランティアの大学生たちにも手伝ってもらって、それぞれオリジナルの作品ができました。

なお、企画・運営は環境フォーラム湖東が担当していただきました。フォーラムから4名、湖東環境事務所から4名、滋賀大学や聖泉大学の学生ボランティア12名と、たくさんの方々のご支援で、充実した時間を過ごすことができました。



DATA

彦根市立 鳥居本小学校PTA

